

## 医療観光研究会(第4回)議事録【概要】

(日 時)平成30年11月13日(火) 19:00~21:00

(場 所)県民文化会館 5階 大会議室

(出席者)岡村座長、上野氏、檜畑氏、片岡氏、坂口氏、坂本氏、白川氏、寺下氏、豊田氏、南條氏、吉田氏(角谷整形)、野尻氏、山西氏

(内 容)

### ■ 議事

議題1 「中国医療ツーリズムの現状」 資料1、参考資料1・2・3

ミンイーコンサルティング法人代表白川忍氏から、中国医療ツーリズムの現状と医療コーディネーターの業務について説明

(主な質疑)※出席者からの質問に白川氏が回答

- ・ 医療ツーリズムの取扱事例はどの地域で多いか。
  - 東京中心。千葉もある。遠隔地だと熊本や北海道を希望する方もある。また、検診は大きい病院に行きたがる傾向がある。治療に関しては個々のドクターを目指す方もいれば、病院を目指す方もいる。問い合わせをしてくる方のニーズによって選定。
- ・ 歯科治療におけるニーズはどのくらいか。
  - 歯科は取扱件数が少なめだが、インプラント、矯正治療、ホワイトニングは可能性がある。中国では歯科のプロモーションが少ないので知られていないが、電子顕微鏡を使って歯根管を治療しており、それを売りにしたいという医療機関もある。現地の方が知れば、ニーズも増えてくると思われる。
- ・ 患者はどのように集めるのか。どうやって日本側の医療機関を探して契約しているのか。医療ツーリズムにおける紹介実績は？
  - 中国では2009年頃から日本での受診が可能であることが口コミで広がった。中国全土で色々なコーディネータ会社がプロモーションをしている。検診の場合は、エージェントのHPを見て来日するケースが多い。治療の場合は、ネット掲示板の口コミが一番多い。治療はニーズがマッチしないと来日につながらないので、無理矢理売り込むことはしていない。また、治療は高額になるので問い合わせに対する成約件数は少なく、月1~2件。
- ・ 訴訟に発展することもあるかと思うが、契約時に法律の専門家を入れるなど、具体的にやっていることは？
  - このサンプル契約書(参考資料2)は弁護士が作ったものを経産省のHPからダウンロードできるので信用できる。医療訴訟は今までなかった。怪しかったのは、美容関係。治療に関しては具体的な経験がない。
- ・ 術後にすきつとしない、治っていなかったら、訴訟問題にならないかが気になる。コーディネーターの中に訴訟対応を組み込んでいかないと、医療観光を広めていくとき問題になるのでは。
  - 介在しているコーディネーターが都合のいい話をしている、病院にも正確に伝えられていないケースがある。医療ミスではなく、患者の期待した結果になっていないということ。

正確なニーズをどうやってとるかということと、合併症の時の追加料金など、あとで料金が変わることがトラブルの原因となっている。

- ・ 医療費は日本の実際の医療費のどれぐらい増しの料金で受けているのか？  
日本で100万円のオペは、上海だと300万円する。陽子線治療も倍以上する。日本の医療費は中国と比べてすごく安い。医療観光を進める場合、ある程度、県内の相場を決めておく必要があると思う。うちの病院では、健診の場合、この機器は日本人のために用意しているので、1.5～2倍になると言っているが、それでも料金は安いと思っている。中国の良い企業の健診だと、25～30万円と言ってくる。高額医療器の減価償却を考えると、海外の患者に使ってもらうことは大事。
  - 医療費は各医療機関が設定した価格で受けている。病院の方針と和歌山県の方針が決まっていれば問題ない。
- ・ 日本の医療費は、技術が高い割に安い。海外に拠点を作って、輸出産業にしようと考えている人もいる。モデルケースをひとつ作れば前に進むと思う。技術を持った先生が技術移転の意味で現地へ行くのもよい。
- ・ ウェルネスとセカンドオピニオンは、やりやすいのでは。和歌山の医療と観光にどれだけのお金を落としてくれるか。機器の減価償却もあるので、稼げるように。
- ・ 地方都市で医療観光を進めていくことについてはどのように考えるか。
  - 日本全国、医療レベルは一定だと思う。どこでも医療の質は変わらないと案内している。ただ、入りやすいルートや、観光地とくっつけて売り出すことが重要。
- ・ コーディネーターにおける失敗事例は？
  - ない。金儲けというより、現地の医療が不足しているので、正しい医療を知るすべがない患者に、いかにしてルートを作ってあげるかというのが使命だと思っている。
- ・ 知り合いがタイから高野山へ観光に行った際、心筋梗塞になり、病院で同意書を書くのに、語学対応が難しかった。日本の医療を目指して来る医療観光と、現地での救急医療と、状況を考えていかななくてはならない中で、医療通訳、ファシリテータが大きな役割を果たすと思う。
- ・ コーディネータの質として、治療に関係しているコーディネーターは比較的専門職なり知識が豊富だと思うが、検診の方のツーリズムはいわゆる業者なので、数は多いがコーディネータの質にばらつきがあると思う。しっかり選別しないと、何でもかんでも客を連れてくるのは危険という気がする。
  - 検診と治療ではプレーヤーの関わり方も全く違うと思うので、それぞれ区別して議論を発展させていく必要がある。